

ヘルメット着用だけじゃない！

自転車安全運転の

あたりますえ！



えっ、青切符!?

自転車なのに!!!!



自動車がじゃなくて!?

道路交通法が
一部改正され、
2026年4月1日より、
16歳以上を対象に自転車の
交通反則通告制度(青切符)が
導入されます。

Q 次のうち青切符の対象になるのはどれ？

1

ながらスマホ

2

信号無視

3

右側逆走

4

一時不停止

5

傘差し運転

6

無灯火運転

7

並進走行



A

実は①～⑦ぜんぶ
青切符の対象です!

青切符!

反則金
3,000円～12,000円

113種あるすべての違反行為に反則金が発生します!





ながらスマホ

反則金 12,000円

A cartoon illustration of a person wearing a helmet and glasses, riding a bicycle. They are looking at a traffic light that is red with a starburst effect, indicating they have just passed it. The person has a bag on their back. The background has motion lines suggesting speed.

信号無視

反則金 6,000円



右側逆走

反則金 6,000円



一時不停止

反則金 **5,000円**



傘差し運転

反則金 5,000円



無灯火運転

反則金 5,000円



並進走行

反則金 **3,000円**

こんな運転も絶対やめよう!



赤切符!

最大5年以下の拘禁刑

または 100万円以下の罰金

※運転免許を保有している者が、自転車乗車中に重大な事故や違反をした場合には、免許停止の可能性もあります。



酒気帯び運転



妨害運転



スマホ使用などによる
危険を生じさせる

自分や大切な人を守るため大人も子どもも

自転車に乗るときは必ずヘルメット

ヘルメットは、万が一の転倒や衝突時に頭部への衝撃を大きく和らげ、命を守ってくれる大切なアイテムです。

交通事故はいつ起こるか分かりません。

かぶっているかどうかで生死を分けるケースもあります。

自分のために、大切な人のために、ヘルメットの着用を習慣にしましょう。



愛知県内自転車死者の負傷主部位構成率

(2020年～2024年 死者総数115人)

頭部が
約6割!

頭部
63.5%
(73人)

頸部
6.1%
(7人)

その他
16.5%
(19人)

胸部
8.7%
(10人)

腰部
5.2%
(6人)



都道府県別 ヘルメット着用率ランキング

1位 愛媛県 70.3%

2位 大分県 53.7%

3位 山口県 49.9%

⋮

35位 愛知県 11.9%

※2025年6月 警察庁実施調査より

ヘルメット購入補助制度



自転車乗車用ヘルメットの着用促進を図るため、
愛知県と一部の市町村が協調し、
自転車乗車用ヘルメットの購入に要する費用の
一部を補助しています。

詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

自転車損害賠償 責任保険等への加入



義務

愛知県の条例では、自転車損害賠償責任保険等に
加入しなければなりません。

自転車損害賠償 責任保険等への加入

高額賠償事例

例1 賠償額 約**6,700万円**

(2003年9月)男性がペットボトル片手に、スピードを落とさず、
下り坂を走行し交差点に進入。

横断歩道を横断中だった女性(38歳)と衝突した。

歩行者の女性は脳挫傷で3日後に亡くなった。

自転車損害賠償 責任保険等への加入

高額賠償事例

例1 賠償額 約**9,500万円**

(2013年7月)小学5年生の男子が、

夜間、自転車で坂を下り歩道と車道の区別のない道路において、

歩行中の女性(62歳)に正面衝突した。

歩行者の女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識不明の寝たきり状態となった。

自転車安全利用五則

1

車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先

2

交差点では信号と
一時停止を守って、安全確認

3

夜間はライトを点灯

4

飲酒運転は禁止

5

ヘルメットを着用

※2022年11月1日 中央交通安全対策会議交通対策本部 決定



今日のまとめ



自転車は「車の仲間」ルールを守って安全に利用しましょう

青切符制度により一定の交通違反に反則金が科せられます

自転車に乗るならヘルメットを正しく着用しましょう

「万が一」のときに備えて自転車保険に必ず加入しましょう

**自分のため、周りの人のため、
今まで以上に交通ルールを守って
安全に利用しましょう。**